

## 日本歯周病学会 第80回 歯科衛生士教育講演会 報告

1. 研修会名：日本歯周病学会第80回歯科衛生士教育講演会（日本歯科衛生士会第4次生涯研修）
2. 主催：特定非営利活動法人 日本歯周病学会（歯科衛生士関連委員会）
3. 協力：和歌山県歯科衛生士会
4. 日時：2019年3月3日（日）10:00～15:20（受付9:30～）
5. 場所：和歌山県民文化会館 5階 大会議室  
和歌山県和歌山市小松通1丁目1 TEL 073-436-1331
6. 演題： ①再考しよう！歯周基本治療  
②挑戦しよう！禁煙支援
7. 講師：長谷川 嘉昭（日本歯周病学会歯科衛生士関連委員会 委員）  
茂木 美保（日本歯周病学会歯科衛生士関連委員会 委員）
8. 研修単位：①②の両方に該当する場合は、それぞれの単位取得が可能  
①日本歯周病学会会員の場合  
・認定歯科衛生士制度における申請時の教育研修単位（参加者8単位）  
・更新時の生涯研修単位（10単位）  
②日本歯科衛生士会会員、会員外の場合  
・第4次生涯研修制度に基づく専門研修単位（歯周治療の基本技術）  
VI-A 「歯周基本治療について」（2単位）、  
IV-C 「禁煙支援」（2単位）

### 9. 内容：

受講人数は、65名であり、そのうち日本歯周病学会会員の出席は、14名であった。和歌山県の日本歯周病学会認定歯科衛生士数は、2018年10月25日現在2名である。

はじめに、和歌山歯科衛生士会山下会長の挨拶があり、茂木委員より日本歯科衛生士会第4次生涯研修制度と今年4月からスタートする第5次生涯研修制度のポイントであるeラーニングについての紹介、そして日本歯周病学会の認定制度につき説明があり、歯周治療の流れにおいて歯科衛生士の役割が大きいこと、歯周治療に対する知識は歯科衛生士のベースであり、臨床で関わっていなくても、その知識や技術を持っていることが、在宅など多職種と連携していく上で専門性を発揮できる強みとなることを強調し、長谷川委員の講演へと繋げた。

長谷川委員は、歯周基本治療を行うにあたり、術前の病態診査から病因診査の必要性を説明し、「今までの思い込み」からの旧態依然の治療の流れを見直す機会になればと、数多くの症例から解説した。

その後、茂木委員より、禁煙に関する知識確認のクイズを全員参加で行い、そこから、「挑戦しよう！禁煙支援」と題して、WHOが日本の歯科診療へ推奨する新たな禁煙支援法を基に、禁煙支援の基本ステッ

プ「5つのA」や3つの禁煙支援のポイントについて解説した。そして、禁煙ステージに合わせた働きかけの演習を行い、新型タバコについての分類や加熱式タバコに関する報告も紹介した。

なお、アンケート回答者は50名であり、日本歯周病学会認定歯科衛生士は9名、今後習得する予定がある方は13名だった。

### 【会場の様子】



### 【和歌山県歯科衛生士会執行部の皆さまと演者】 (前列左から、茂木委員、長谷川委員、山下会長)

